



肉食を見なおそう

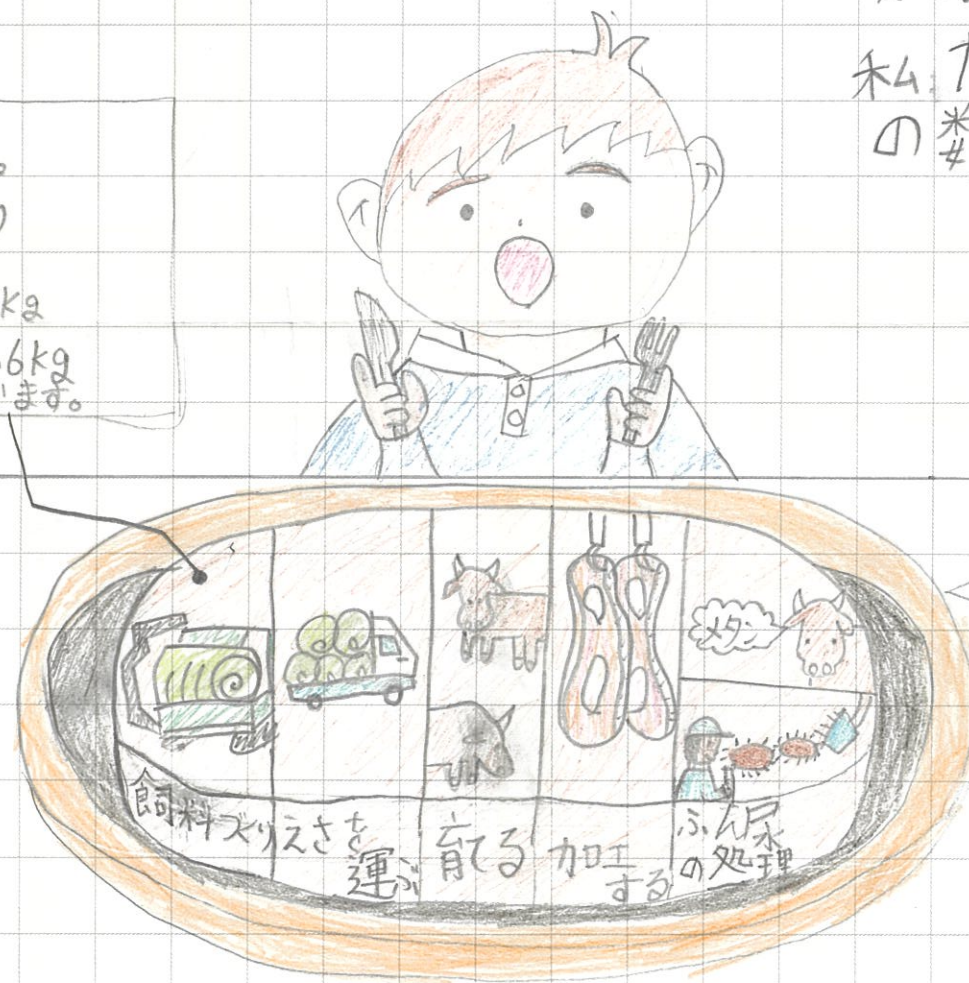
食べ物は、生産からすてられるまでの間にさまざまな場面で CO_2 が出されています。そのうち肉や魚介類、乳製品などの「動物性食品」は、食べ物のカーボンフットプリントの約50%です。肉などを食べる量をへらすと CO_2 の削減につながります。

動物性食品のなかでも肉は、カーボンフットプリントが高くなります。生産や輸送、食品加工のほかにかちくのかんを処理する機械で電気を使うことでも CO_2 が発生します。また、ぶたやにわとりと比べるとえさがたくさん必要な牛は、 CO_2 の排出量が多くなります。

カーボンフットプリントとは？

私たちの消費から出る CO_2 の数値のこと

1kgの牛肉が
できるまでにでる CO_2
約16kg!!
ぶた肉だと約4kg
とり肉だと約1.6kg
出るといわれています。



牛のけっかに
温室効果ガス
のメタンがふく
まれている

CO_2 をへらす方法を考えてみよう。
肉のかわりに野菜や豆などを使ったり、比較的 CO_2 の排出量が少ない乳製品や卵をうまくとり入れたりして楽しく無理なく、 CO_2 をへらせませす。

まとめ

肉食を見なおしたことで牛は、ほかの動物より CO_2 が出るといことが分かったので、これからは食べのこさないことをこころがけたいと思いました。



ごみはどこへ? ごみを調べよう!!

1人が1日出すごみの量は... およそ **1kg**
1年間で考えると、1人あたり1日1kgだから... **365kg**

世界で1年間に **20億1.000万t**



もやしてへらす

回しゅうする → もやしてはいにする → うめたてる

くだいてへらす

回しゅうする → くだく → 選別する → さいいり用する

しぼんとしてさいいり用する

かいしゅうする → 分別する → しぼんにもどす → 加工する

ごみをへらすには?

リユース

くり返し使う

リサイクル

ごみをしぼんと
してさいいり利用する

1. ごみをふやさないようにする

2. 必用のない物はかかない

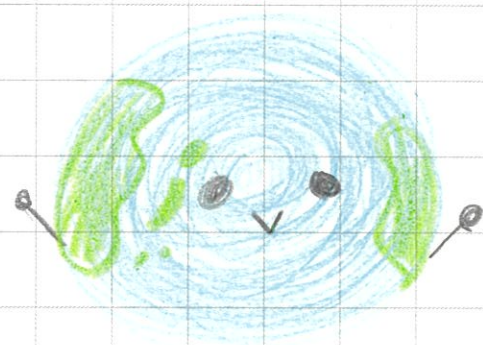
3. つめかえしょう品をかう

4. つかいすてをしない

5. エコバックやマイボトルを使用する

6. 必用のない物やよぶんな包そうはことある

ごみゼロマスター!!



ふり返し

夏でもペットボトルをつかっ てしまうのでマイボトルを使用したい
と思います。 めごせ!! ごみゼロマスター



ごみの分別

〇家で分別してるごみたち



市に出しているごみ



リサイクルボックスに
入れているごみ

〇ごみを分別するメリット

かんきょうほご、資源の有こう活用、経ざいこう果などがある。

例：リサイクルによる資源の節約。

燃きゃくするごみの量がへ、て、温室こう果ガスの排出量をさくげん出来る。

うめ立てるごみの量をへらすことで、うめ立て地のし、命を長くすることが出来る。

ごみのしりいかかるひょうをさくげん出来る。

ないがあらります。

これから色々なごみの分別をしていきまいたす。



近年、ますます地球温暖化が進んでいます。私たちにできる地球や家計にやさしいことを考えて、夏休みに取り組んでみました。
夏休み 40日間(登校日をのぞく)

1. テレビを見る時間を減らした。

(二酸化炭素)

減る量 18g/日 $18 \times 40 = 720g$

2. 照明を使う時間を減らした。

減る量 4g/日 $4 \times 40 = 160g$

3. 洗濯をまとめてした。

減る量 65g/日 $65 \times 40 = 260g$

4. マイボトルを使った。

減る量 105g/日 $105 \times 40 = 4200g$

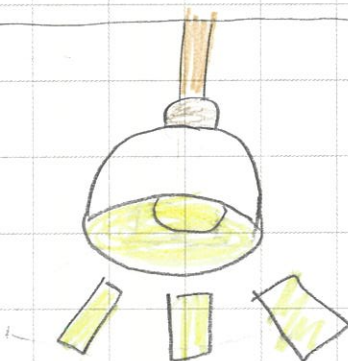
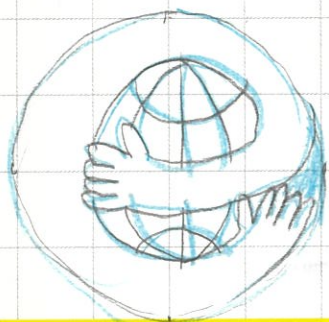
5. 買い物は、マイバッグを使った。

減る量 23g/日 $23 \times 40 = 920g$

6. 旬の野菜や果物を食べた。

減る量 102g/日 $102 \times 40 = 1080g$

合計: $720 + 160 + 260 + 4200 + 920 + 1080 = 7340g$ 減った!!!





ぼくたちができる温暖化対策

①地球温暖化って何?

・地球の気温が少しずつ上がっていく。

これを地球温暖化といいます。

☆おこること

- ・氷がとけて海の水が増える
- ・大雨や雨がふらないかふえる
- ・動物や植物が住みたくくなる。



②ぼくたちができる5つのたいさく!!

やさしさレベル

なかなレベル

たいさく

どんなこと?

①電気を大切に使う

テレビや電気をフカってないとき

☆☆☆☆

②リサイクルをする

紙、びん、カンを分けてる

☆☆☆☆

③車をなるべくつかわない

歩いたり、自転車に乗る

☆☆☆☆

④エコバッグを使う

買い物の時にビニール袋を使わない

☆☆☆☆

⑤木を大切にする

木を切りすぎず、植える

☆☆☆☆

⑥地球のため1にできることは、

小さくても大それたことです。

みんなの力を合わせて、きれいな地球を守っていきましょう!!!

できることからやってみようと思いました。



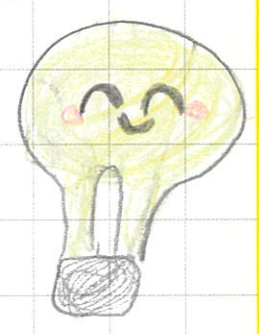
エコ活動のとりくみ	お父さん	お母さん	お兄ちゃん	わたし
電気をこまめにけす	×	○	△	△
水を出っぱなしにしない	○	○	○	○
お風呂はかんかくをあけずに入る	△	○	×	△
たばこのしをしない	○	○	△	△
エコバックをつかう	△	○	×	×
れいぞうこに物をつめこみすぎない	△	△	△	△
水とうをもちあるく	×	×	○	○
冷房の温度をひかえめにする	×	○	△	×
近い場所では車を使わずにあるく	△	△	○	○

分かったこと！

- ・お母さんがーばんエコ活動にとりこんでいました。
- ・水はみんなきをつけてこまめにとめていました。
- ・お父さんがーばん × がたくさんあったです。



感想！



わたしもお母さんみたいにエコ活動にきをつけて生活したいと思います。お父さんやお兄ちゃんにもエコ活動をがんばってもらいます。地球を大事にしたいです。

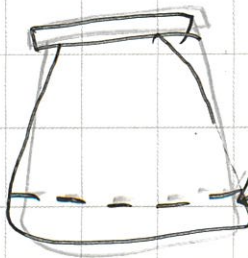


エコチャレンジ

わたしの家では、お父さんがヨーグルトをよく食べるので、その容器で、フロッコリースフラウトをスダでしています。すてずにいい野菜もつくれるなんて、いいと思いませんか？作り方を教えます。

作り方①

まずは、上と下を切ります。



ここを切る

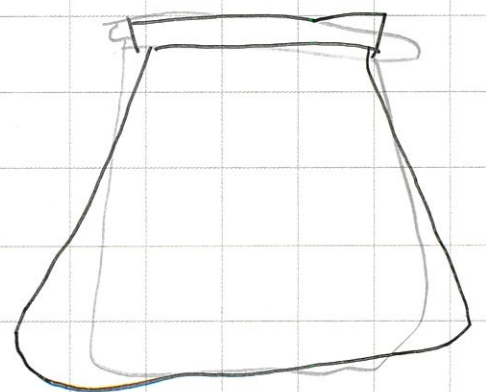
カッターなどに気をつけよう！

②

次に、かたい紙を上ので半分にかたをとり、テープでとめます。

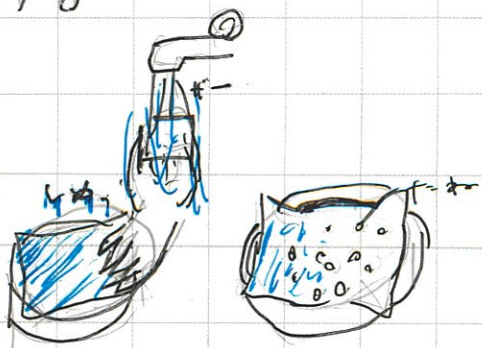


こんな感じのカップ



③

そして、下のところにキッチンペーパーを水でぬらし、その上に、たねをきんいっくにまきます。



④

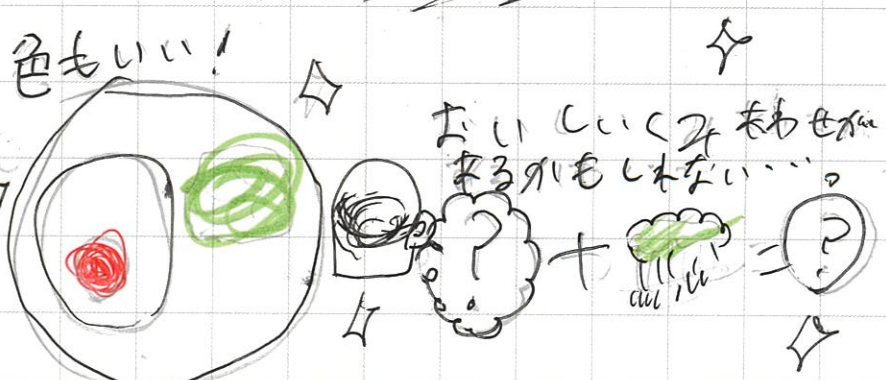
さいごに、②で作ったものを、上にかぶせて日光があたらないかげにおいておきましょう。



たねはこれ



ちなみに...
目玉焼きといっしょにして食べたりすると、おいしいですよ！



せわのしかたや
芽は、だいたい3〜4日ていどで芽が出ます。おせわはんたん！
日1〜2回きりふきでしめらし、日1回水をかえてあげましょう！
(発根してから)しゅうかくは、根からみせで切る。



二酸化炭素をへらす。

(1) 考えるリサーチは。

今のままでは、どんどん二酸化炭素が増えちゃう。日常でできるか、たんなりか、極端な言い方。やり方であらう。

(2) しらべのほうほう。

・インターネットをつかう。(ヤフーなど)

(2) どうやってわかったことをもたいていしきでかく。

1問 =

エコバックをつかうとどれくらい節約できるのか(年間)

A 28kg

B 58kg

C 41kg

こたえ →

2問

冷房を1℃あげると年間どれくらい節約できるのか

さらにどれくらい節約できるのか

A 3kg節約 約30円節約

B 2kg節約 約20円節約

C 5kg節約 約50円節約

こたえ → A の

3問

冷房を1℃高く/低くすると年間どれくらい節約できるのか(せつやくも)

年間どれくらい節約できるのか(せつやくも)

A 33kg節約 約1800円の節約

B 32kg節約 約2000円の節約

C 22kg節約 約1000円の節約

エコ
!!!

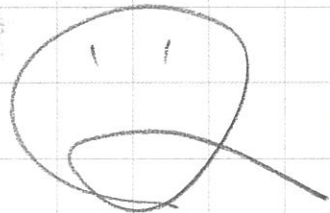
こたえ →

まとめ

- ・CO₂の削減は、節約につながる。
- ・かんたんな1つの出来事で、かんきょうにこうけんできる。
- ・みんなが協力して地球を守ること。

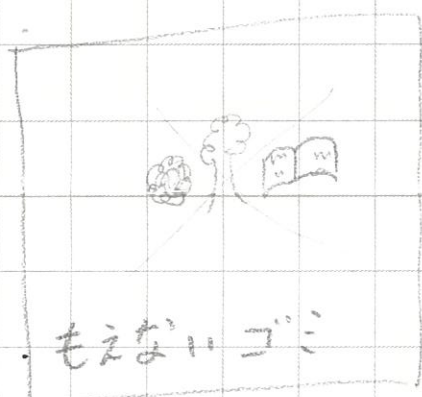
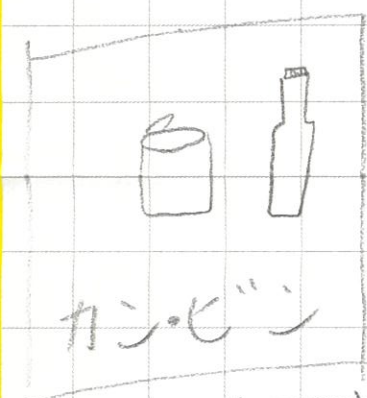
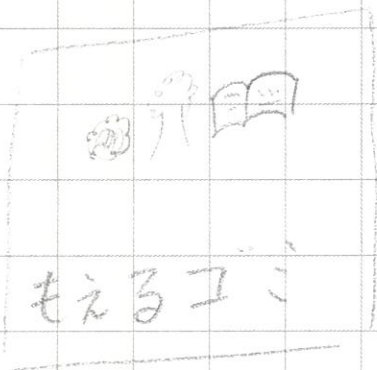


分別



〈家庭ゴミの分別〉

〈大きく分別〉

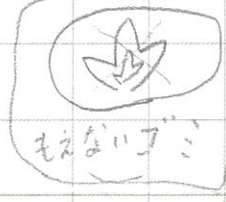


有がいゴミ・もやせるゴミ、もやせないゴミ、枝葉・草類

しげん物、古紙、アルミ缶、空きビン、古着類、トイ、ペットボトルなど...

食べ物・のみ物・おかしに

ついてる。マーク



では、1問目... かわの長く

クイズ

は、①もえるゴミ②もえないゴミ

正かいは、① → ①です。
クイズ 2問目... ビニール袋は、

①もえるゴミ ②もえないゴミ

正かいは、① → ①

⑤ 私のはじめに、分別は、あまりむづかしいとは思っていましたが、エコチャレンジをして、エコとは、とても大事なものだと分かりました。